

171-参-厚生労働委員会-9号 平成21年04月21日
※厚生労働委員会委員長として議事進行

○委員長（辻泰弘君） ただいまから厚生労働委員会を開会いたします。
委員の異動について御報告いたします。
昨日、梅村聡君が委員を辞任され、その補欠として金子恵美君が選任されました。

○委員長（辻泰弘君） 政府参考人の出席要求に関する件についてお諮りいたします。
社会保障及び労働問題等に関する調査のため、本日の委員会に、理事会協議のとおり、厚生労働省医政局長外口崇君外十七名の政府参考人の出席を求め、その説明を聴取したいと存じますが、御異議ございませんか。
〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（辻泰弘君） 御異議ないと認め、さよう決定いたします。

○委員長（辻泰弘君） 社会保障及び労働問題等に関する調査のうち、雇用、医療等に関する件を議題とし、質疑を行います。
質疑のある方は順次御発言願います。

（中略）

○足立信也君 個別の事案で、やはり長期生存例とか、明らかに報告されているのがあります。それから、集約されつつあると今おっしゃいましたけれども、やはりまだ検討課題であるというのは一部あるんだと思います。検討すべきだと私は思います、積極的に、むしろ。（以下略）

○委員長（辻泰弘君） 御提起の件につきましては、後刻理事会で協議させていただきます。

○足立信也君 ところで、先ほど、WHOのガイドラインプリンシプルが出た後に大臣はどうしますかと、法整備もやらなければいけないというお話がありました。これ、仮に十二年前と同じように、解散になって、廃案になって、自社さ政権に前回政権が替わって、そして新しく出し直したという事態があったわけですね。

これ、国として法整備をしなければいけないんだという認識があるのであれば、もし仮にそうなった場合に、これを閣法としてその修正を行うという意図はあるのでしょうか。可能性があるのでしょうか。

（中略）

○西島英利君 これ御質問は終わらせていただきますけれども、まさしく今医療が、訴訟リスクが非常に高いところでの、例えば外科とか産婦人科とか、そういうところから敬遠をさ

れるという状況も起きているところでもございます。是非、大臣、そういう視点から、早めの国会への提出をお願い申し上げたいと思います。よろしく願いいたします。

ありがとうございました。

○委員長（辻泰弘君） 午後一時に再開することとし、休憩いたします。

午前十一時五十七分休憩

午後一時開会

○委員長（辻泰弘君） ただいまから厚生労働委員会を再開いたします。

委員の異動について御報告いたします。

本日、金子恵美君及び森田高君が委員を辞任され、その補欠として梅村聡君及び川崎稔君が選任されました。

○委員長（辻泰弘君） 休憩前に引き続き、社会保障及び労働問題等に関する調査のうち、雇用、医療等に関する件を議題とし、質疑を行います。

質疑のある方は順次御発言願います。

○坂本由紀子君 自由民主党、坂本由紀子でございます。

この厳しい経済状況、この経済危機を克服するために、政府はさきに経済危機対策をまとめられ、二十七日にも補正予算を提出されるやに報道されておるところでございますが、先般策定されました経済危機克服の道筋を定めたところの対策について少し内容をお伺いしたいと思います。

まず、喫緊の雇用対策についてでございますが、雇用対策につきましては、これまでも雇用調整助成金、これまでになく充実し活用されているところでございますが、政策の中には雇用調整助成金の拡充等ということで盛り込まれております。具体的にどのようなことを考えているかということと、それからそれについてどういう効果を期待をしているかということについて御答弁をいただきたいと思っております。

(中略)

○福島みずほ君 いや、こういうのを厚労省がこの段階で出すということにやっぱりショック受けますよ。派遣切りに苦しんだり偽装請負で足が震えながら、みんな労働局に行ったりしているんですよ、何か月も。物すごく時間掛かって労働局が判断する。この疑義集は労働者を本当に苦しめるものでしかありません。こういうのを厚労省が出すことは極めて問題であり、白紙撤回するよう求めていきます。

終わります。

○委員長（辻泰弘君） 本日の調査はこの程度にとどめます。

本日はこれにて散会いたします。

午後三時十六分散会